

第七十九回帝國議會 院 郵便法中改正法律案外三件委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十七年一月二十六日(月曜日)午後一時 十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 宮澤 裕君

理事一ノ瀨俊民君 理事清 寬君

理事増永 元也君 理事木村三郎君

愛野時一郎君 一ノ瀨俊民君

清 寬君 熊谷五右衛門君

會木 重貴君 高橋 義次君

田中 好君 多田 滿長君

仲西 三良君 春名 成章君

増永 元也君 木村三四郎君

若宮 貞夫君 井上 良次君

中野 寅吉君 西岡竹次郎君

同日委員清瀨規矩君辭任ニ付其ノ補闕トシテ羽田武嗣郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

逓信大臣 寺島 健君

鐵道大臣 八田 嘉明君

出席政府委員左ノ如シ

逓信次官 手島 榮君

逓信省郵務局長 遠藤 後一君

逓信省電務局長 中村 純一君

逓信省管理局長 景山 準吉君

逓信省經理局長 小林 武治君

貯金局長 伊勢谷次郎君

鐵道省監督局長 佐藤 榮作君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

郵便法中改正法律案(政府提出)

郵便貯金法中改正法律案(政府提出)

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

○宮澤委員長 開會致シマス、本委員會ハ

逓信省、鐵道省兩省ノ法律案ノ審議デゴザ

イマスガ、本日ハ兩省ノ大臣カラ提案ノ理

由ノ説明ヲ御聽キスルコトニ致シマシテ、

質疑ハ明日カラ改メテヤルコトニシタイト

思ツテ居リマス、尙ホ問題ハ極メテ簡單デ

アリマスガ、關聯ノ質問モゴザイマセウカ

ト思ヒマスルシ、又ソレニ付テ參考書類等

ノ要求ガアリマスレバ、書記ノ方ヘ御申出

ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデハ先ニ逓信

大臣ノ説明ヲ承リマシテ、其ノ後カラ鐵道

大臣ノ説明ヲ聽クコトニ致シタイト思ヒマ

ス、尙ホ公報ヲ以テ御通知申上ゲマスガ、

明日ノ午前十時カラ開會シテ、郵便法ノ委

員會ノ質疑ヲ試ミタイト云フ豫定デアリマ

スカラ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマ

ス——逓信大臣

○寺島國務大臣 郵便法中改正法律案ニ付

キマシテ提案ノ趣旨ヲ御説明申上ゲマス、

本案ハ郵便料金ニ關スル規定ノ改正ヲ行ハ

ントスルモノデアリマシテ、改正ノ理由ニ

付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ申上ゲ

マシタル如ク、各種通信料金ノ引上ニ因リ

國庫收入ノ増加ヲ圖リ、戰時財政ノ強化ニ資スルト共ニ、戰時下重要ナル通信事業ノ運行ニ支障ナキヤウ、事業ノ調整ヲ圖リタイト存ズル次第デアリマス

郵便料金ノ改正方針及ビ程度ニ付キマシテハ、郵便ノ利用ガ國民ノ日常生活ト密接ナル關係ヲ有スル點ニ鑑ミマシテ、其ノ影響ヲ可及的少カラシムルヤウ考慮シ、料金引上ノ割合ハ、全體トシテ大體二割五分程度ト致シタノデアリマス、尤モ一部ニハ更ニ高率ナリ上率トナツテ居ルモノモアリマ

スガ、是ハ利用ノ狀況、郵便物ノ性質等ヲ考慮シ、又貨幣單位ノ關係ヨリソレノ適當ト認ムル所ニ定メタノデアリマス、尙ホ郵便種類ノ中、其ノ利用ガ最も普遍的デアリマスル所ノ通常葉書及ビ往復葉書ノ料金引上ヲ致サナカツタノモ、右ノ如キ趣旨ニ依ルモノデアリマス

以上ハ本改正法律案ニ依ツテ引上ゲラレマスル普通通常郵便料金ニ付テ申上ゲタノデアリマスガ、右ノ外同様ノ目的ノ爲メ逓信省令ニ規定セラレテ居リマスル所ノ小包郵便料金及ビ特殊取扱料金ニ付キマシテモ、之ニ相應スル程度ノ引上ヲ行フ積リデアリ

マス、御參考マデニ申上ゲマスレバ、料金引上ニ因リ昭和十七年度増収見込額ハ、本案ニ依リマスル普通通常郵便料金ト其ノ他ノモノトヲ合セ、大體千九百萬圓ノ豫定デア

付託議案  
郵便法中改正法律案(政府提出)  
(第四五號)  
郵便貯金法中改正法律案(政府提出)  
(第四六號)  
鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)  
(第四七號)  
地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)  
(第四八號)

アリマス、而シテ其ノ大部分ガ國家財政ノ強化ニ充テラレ、一部ヲ事業施設ノ擴充ニ充テルコトトナツテ居リマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラント切望致シマス

次ニ郵便貯金法中改正法律案提案ノ趣旨ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ概略御説明申上ゲタノデアリマスガ、尙ホ此ノ機會ニ於キマシテ、説明ヲ補足致シテ置キタイト存ジマス、本改正ノ要點ハ、郵便貯金ノ一人ノ總額制限額三千圓ヲ五千圓ニ引上ゲマ

スコトト郵便貯金切手制度ヲ創設スルコトノ二點デゴザイマス、御承知ノ如ク郵便貯金ノ一人ノ總額制限額ハ、明治三十八年本制度創設ノ當初ニ於キマシテ、之ヲ五百圓ニ定メラレタノデアリマスガ、爾來經濟界ノ發展ニ伴ヒマシテ數次改正ヲ加ヘラレ、

更ニ昨年二月第七十六議會ノ協賛ヲ得テ、二千圓ヨリ三千圓ニ引上ゲラレタノデアリマス、昨年改正ノ當時ニ於キマシテモ、國民ノ所得額及ビ其ノ貯蓄力増進ノ實況等ヨリ致シマスレバ、之ヲ五千圓程度マデ引上

ガタキ希望デアツタノデアリマスガ、郵便貯金ノ類似制度タル貯蓄銀行及ビ產業組合ノ貯金ニハ、三千圓以上ノ預金ニ對シ課稅セラレルノデ、是トノ關係ヲ考慮致シマシ

テ、是ガ引上ノ限度ヲ三千圓ニ止メタノデアリマス、然ルニ、其ノ後ニ於ケル情勢ハ、

益、國民貯蓄ノ増加ヲ要スルコトナリ、尙ホ來年度ヨリ貯蓄銀行及ビ産業組合ノ貯金ニ對スル免稅點ヲ三千圓ヨリ五千圓ニ引上グルコトトシ、是ガ改正法律案ヲ本議會ニ提出致シテ居リマス、此ノ際郵便貯金ニ於キマシテモ、一人ノ總額制限額ヲ五千圓ニ引上ゲタイト存ズル次第デゴザイマス

○宮澤委員 參考資料ノ要求ハドノ機會ニスレバ宜イデスカ

○宮澤委員 今遞信省ノ御説明ヲ拜聽致シマシタカラ、遞信省所管ノモノハ此ノ際御要求下サツテモ宜シウゴザイマス

○若宮委員 此ノ機會ニ少々參考資料ヲ得テ置キタイト思ヒマス、其ノ一ハ、今ノ郵便法中改正法律案ニ關聯シテ、主チ外國ノ郵便料金、電話料金等分ツテ居ル限リヲ一ツ參考資料トシテ提供願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ今配付ヲ受ケタモノノ中ニ、詳カニ拜見スレバアルノカモ知レマセス、又サモナクバ豫算書ノ方デ調ベレバアルカトモ思ヒマスガ、便宜上エライ御手数數ヲ掛ケナイコトナラバ、先日省令ヲ以テ改正サレマシタ電信電話料ニ關スル増収見込額並ニ今度ノ此ノ郵便法中改正法律ニ依ツテ生ズベキ増収見込額、ソレハ茲ニ出テ居ルヤウデスガ、之ヲ國庫ト特別會計ニドウ云フ風ニ按配サレマスカ、ソレカラ特別會計ノ方ノ増収ニ屬スル分ハ、凡ソ便宜イデスガ、ドウ云フ風ニ使用サレル見込アルカト云フコトヲ、是ハ甚ダ不精ナヤウデ、豫算書ヲ拜見スレバ出ルト思ヒマスガ、此ノ委員會デハ一寸困難デアリマシテ、若シエライ御手数數ヲ掛ケヌトスレバ、其ノ點ヲ併セテ頂戴致シタイト存ジマス

○宮澤委員 其ノ他ゴザイマセウカ、後デモ宜シウゴザイマスカ、今御氣付キノ點ガアレバ、遞信所管ダケハ參考資料ヲ御要求ニナツテ宜シウゴザイマス——ソレデハ鐵道省所管ノ説明ヲ承リマス

○八田國務大臣 鐵道敷設法中改正法律案ノ提出理由ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテ一應御説明申上ゲタイトアリマスガ、此ノ場合今少シ詳シク申上ゲタイト存ジマス、今回ノ改正ハ鐵道敷設法別表第百二十九條ニ掲ゲラレタル豫定鐵道線路、即チ渡島國上磯ヨリ木古内ヲ經テ江差ニ至ル鐵道及ビ木古内ヨリ分岐シテ福山ニ至ル鐵道ノ

終點福山ヲ大島マデ延長セントスルモノデアリマシテ、約二十六「キロ」ノ區間デアリマス、本線路ノ沿線ハ、時局下最モ緊要ナル鐵鋼ノ生産ニ缺クコトノ出來ナイ「マンガン」礦ノ豐富ナル埋藏地帯デアリマス、「マンガン」礦ガ從來多ク輸入ニ俟ツテ居リマシタコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、世界情勢ノ變化ハ此ノ輸入ヲ困難ナラシメタノミナラズ、鐵鋼増産計畫ノ實施ニ伴フ國內「マンガン」ノ需要増加ハ、本地方ノ「マンガン」礦ヲ積極的ニ開發スルコトガ緊要トナツテ來タノデゴザイマス、仍テ本區間ニ鐵道ヲ敷設致シマシテ、是ガ増産ヲ圖リ、戰時資材トシテ緊要ナル鐵鋼ノ増産ニ寄與致シマスト共ニ、地方交通ノ整備、地方産業ノ開發ニモ貢獻シタイト存ジマシテ、昭和十七年度ヨリ工事ニ著手シ、十九年度ニ完成致シタイト考ヘテ居リマス、然ルニ本區間ハ鐵道敷設法別表ニ掲ゲテアリマセスカラ、之ヲ豫定鐵道線路トシテ追加スル必要ガアリマスノデ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス

次ハ地方鐵道補助法中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲタイト存ジマス、現行補助法ハ昭和十二年三月改正セラレタモノデアリマシテ、其ノ趣旨ト致シマス所ハ、地方鐵道ノ運営ヲ確保シ、效用ヲ増進セシムルコトヲ目的ト致シマシテ、建設費ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヨリ益金ヲ控除シタル殘額ヲ限度トシ、運輸數量ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依リマシテ計算シタル補助金ヲ交付スルモノデ、且ツ補助ノ目的達成上遺憾ナキコトヲ期スル爲メ、命令ヲ以テ補助金ノ使途ニ關スル規定ヲ設クルコトト致シタモノデアリマス、然ルニ本法ノ施行ヲ五

年ニ限ツテアリマスノデ、昭和十七年四月一日以後ノ期間ニ付テハ、補助金ヲ交付シ得ナイコトニナツテ居リマス、爾ツテ現行補助法施行後ニ於キマスル地方鐵道ノ業績ヲ見マスルニ、補助ノ效果ハ漸次衰リツツアリマスルト共ニ、一般貨客ノ漸増ニ伴ヒマシテ、收入ハ増加ノ傾向ニアリマスルガ、一方物價ヤ賃銀ノ昂騰、「ガソリン」ノ代燃化等ニ依リマシテ、支出モ増當致シテ參リマシタ上ニ、輸送力増強ノ必要ニ迫ラレツツアルモノガ多イノデ、是ガ施設ノ改善ニ要スル費用モ嵩ミ、收益狀態ハ寧ロ低下スル傾向ニアルモノモ相當多イノデアリマシテ、昭和十五年度ニ於テ建設費ニ對スル益金割合ガ年四分ニ達シナイモノハ、全地方鐵道ノ約四割ニ相當致シテ居ル狀態デアリマス、隨テ施設ノ改善ヲナシ、事業内容ノ強化ヲ圖リマシテ、現下喫緊ノ要務タル交通ノ確保ヲ期スル爲メハ、即チ補助制度ノ存續ヲ必要トスルモノガ多イノデアリマシテ、今回補助期間ヲ更ニ、五箇年延長セントスル次第デアリマス、尙ホ地方鐵道ノ中ニハ、從前ノ規定ニ依リマシテ補助ヲ受ケテ居ルモノモアリマスルノデ、今回五箇年延長ヲ致シマス、其ノ終期ヲ一致サセル結果トナリマス

以上大體ノ御説明ヲ申上ゲマシタガ、尙ホ御質問ニ依リ御答ヘ致シタイト存ジマス、何卒十分御審議ノ上兩案トモ御協賛アランコトヲ希望シマス

○田中(好)委員 資料ノ要求ラシタイトデスガ、補助ヲ受ケテ居リマスル地方鐵道ノ會社名、建設費、配當利率、補助金ノ金額、斯ウ云フ事項ヲ一ツ表ニシテ頂戴スルト結構ト思ヒマス

○八田國務大臣 承知致シマシタ

○宮澤委員長 他ニ資料ノ御要求ハアリマ  
セスカ—ソレデハ本日ハ豫定通り是デ散  
會致シマス、明日ハ午前十時カラ遞信省所管  
ノ質疑ヲ繼續スルコトニ致シマスカラ、左  
様御承知ヲ願ヒマス、詳細ハ公報ヲ以テ御  
通知申上ゲマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シ  
マス

午後一時三十六分散會

昭和十七年一月二十六日印刷

昭和十七年一月二十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局